

授業が変わる！評価が変わる！

これからの中学校英語科における授業づくり

コンテンツの趣旨

今年度から学習指導要領が全面実施され、授業づくりの在り方が変わります。これに伴い、従来行ってきた学習指導や学習評価を見直し、改善・充実を図っていく必要があります。本コンテンツでは、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査（以下、学習状況調査）の分析結果から、課題の見られる資質・能力を明確にし、その資質・能力を育成するための授業づくりについて示します。

具体的には、「これからの中学校英語科における授業づくり～指導と評価編～」と題し、課題の見られる資質・能力を育成するための単元パッケージ（単元の指導と評価の計画や本時の展開、評価問題等）を順次発信していきます。

単元 日本文化を紹介する（第3学年 全4時間）	英語の目標 「書くこと」イ	
単元を通して育成を目指す資質・能力 テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力	学習評価のキーワード 「書くこと」における「思考・判断・表現」の評価	
(1) 目標 来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。		
(2) 評価規準（「書くこと」の評価規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・受け身を用いた文の構造を理解している。 ・日本文化について、受け身の文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。	来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

「これからの中学校英語科における授業づくり～指導と評価編～」より一部抜粋

本コンテンツで取り上げる、学習状況調査結果より課題の見られる資質・能力は以下の5つです。

【学習状況調査結果より課題の見られる資質・能力】

- テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力
- 語や文法事項等を理解して正しく書く力
- 聞いて把握した内容について適切に応じる力
- まとまりのある文章を読んで、その要点を捉える力
- 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるように、話の内容や書き手の意見などを捉える力

また、「これからの中学校英語科における授業づくり～評価問題編～」と題し、評価問題の改善ポイントについても具体例を示しながら説明します。

3 評価問題作成のポイント



- ① 「聞くこと」及び「読むこと」の目標を確認します。
- ② 出題する問題により評価すること(「知識・技能」の評価問題 / 「思考・判断・表現」の評価問題 [必要な情報を捉える問題, 概要を捉える問題, 要点を捉える問題])を明確にします。
- ③ 「知識・技能」の評価問題においては, 特定の言語材料*¹を使用して作成する必要があります。
- ④ 「思考・判断・表現」の評価問題においては, 特定の言語材料を必ず使用しなければならないわけではありません*²。
- ⑤ 「思考・判断・表現」の評価問題においては, 読まれたり書かれたりした英文の「必要な情報」「概要」「要点」を捉えることができるかを問います。そのため, それぞれを評価することに適したテキストの種類を選択することが大切です。

評価すること	テキストの種類
必要な情報	広告, パンフレット, 予定表, 手紙, 電子メール等
概要	時系列で書かれた短い説明, 意見文, エッセイ, 物語等
要点	社会的な話題に関する説明文, 意見文, 手紙, 電子メール等

「これからの中学校英語科における授業づくり～評価問題編～」より一部抜粋

明日からの授業づくりにどうぞご活用ください。